



市政への相談事は  
**佐藤 ふみお**へ  
電話 029(831)5397  
029(834)7366

発行/2026年 1月

# かすみがうら新聞

日本共産党かすみがうら市委員会

かすみがうら市稲吉東4-5-18 Tel 029(834)7366 Fax 029(834)7367



日刊紙 月 3497円  
日曜版 月 990円

議員 佐藤 一般 質問

## 水道事業の広域化について

### 1ト当り県水供給単価132円に対し地下水20円

2025年かすみがうら市議会第4回定例会は11月25日開会、一般質問は12月3日～5日で実施されました。佐藤議員は3日に登壇、①庁舎管理規定の改正②図書館を含む複合交流施設計画③水道事業の広域化についての3項目にわたって市長及び担当部長に質しました。

#### 令和18(2036)年度の下稲吉第2浄水場の配水場化 待った!

広域連携による施設最適化の概要によると、かすみがうら市にある浄水場2箇所(霞ヶ浦浄水場と下稲吉第2浄水場)について、令和18(2036)年度に下稲吉第2浄水場を、令和28(2046)年度に霞ヶ浦浄水場の浄水施設を廃止し、

佐藤議員は「水道法第1条には、清浄・豊富・低廉が事業の目的として明示されており、その背景には、憲法25条2項の『国は公衆衛生の向上及び増進に努め』の理念



下稲吉第2浄水場 (かすみがうら市下稲吉)



霞ヶ浦浄水場 (かすみがうら市西成井地内)

市町村単独での経営が困難となった場合でも、広域的な受皿を用意すること、住民への給水責任を全うできるようにするための規定であると認識している」と答えました。

佐藤議員は「市町村単独での経営が困難となった場合でも、広域的な受皿を用意すること、住民への給水責任を全うできるようにするための規定であると認識している」と答えました。

佐藤議員は「人口減少で収益が少なくなると経営が大変になるというところですか」と質しました。同部長は「小規模自治体が抱える課題解決のため、都道府県が中心となり、経営面でのスケールメリットを生み出すため、広域連携を推進する新たな取り組みへと変えた」と答弁。

佐藤議員は「県に任せれば解決するのか」と問い、「物価高騰の下、公共料金の在り方や災害対応、技術向上のために、国と

自治体が果たすべき役割は大きくなっていく。抜本的な責任と水道の今後が問われている」と述べ、「守谷市も不参加を決めた。これで、水道を供給されている総人口の半分以上が不参加になった。『1県1水道』は事実上破綻しているのではないかと質しましたが、同部長は、答弁できませんでした。

地下水を活用する施策は残されている

地下水の汲み上げについて佐藤議員は「ポンプ(揚水機)の吹き出し口の断面が50cmであれば、日量792ト程度の揚水量が可能だ。広域連携に加入すると、かすみ

地下水の汲み上げについて佐藤議員は「ポンプ(揚水機)の吹き出し口の断面が50cmであれば、日量792ト程度の揚水量が可能だ。広域連携に加入すると、かすみ

佐藤議員は「人口減少で収益が少なくなると経営が大変になるというところですか」と質しました。同部長は「小規模自治体が抱える課題解決のため、都道府県が中心となり、経営面でのスケールメリットを生み出すため、広域連携を推進する新たな取り組みへと変えた」と答弁。

議 会 傍 聴 記  
佐藤議員の一般質問が不穏当として懲罰委員会が設置されたようだ。確かに同氏は交渉ごとにおいて押しが強いことは事実だと思う。しかし、それは同氏の力であり情熱であり優しさでもある。悪意などみじんもない▼反感を感じれば攻撃的対象になりやすい人柄かもしれない。私は佐藤議員が大好きである。初めから佐藤議員を政敵として何が何でも攻撃したい論外の議員もいる▼いま私は皆さんに呼びかけます。議会はいい機会を作ってくれたので 本当の佐藤議員はどんな人なのか? 知る機会をみんなで創りませんか▼かすみがうら市と周りの地域は肥沃な田畑や素晴らしい気候にめぐまれていて農業を営むには適した場所である。長年にわたって自民党政から農業潰しの抑圧をうけながらも自民党支持を続ける人の多い土地柄でもある。だからこそ民衆の苦難軽減を目指す日本共産党の出番の時だと思ふ。

【K】

議員 藤 佐  
質 般 一

## 図書館を含む複合交流施設計画

## やまゆり館に図書館・交流センターを増築する!?

佐藤議員は「2022年の宮嶋市長の選挙公約と、市長が諮問した『中心市街地における公共施設の在り方に関する検討委員会』の方向性に食い違いがあるのでは」と質しました。

市長は「検討委員会では3回の会議を開催し、素案を作成・協議している」と聞いている。結果の報告は、令和8年3月末を目標に進めており、どのような答申がなされるか期待している」と答えました。

と説明しています。

当初から新設は考えていなかった!?

佐藤議員は「そもそもスタートから、やまゆり館、大塚ふれあいセンター、下稻吉コミュニティセンターの3施設に絞り、新設については論外となつていのは何故か」と質しました。

2022年7月10日 行われた市長選挙の宮嶋市長の公約は『愛され 中央に周辺緑地をいこい

の広場に』と記載されています。しかし、10月25日『中心市街地における公共施設の在り方に関する検討委員会』が主催した地域懇談会に提出された資料には、同検討委員会が検討している新施設の配置図とイメージ図があり、やまゆり館に図書館、交流センターを増築する案が出されました。

総務企画部長は「実現可能な計画ということでスタートしていますので、実現可能な大きなものを想定することは、委員の皆さんは消極的だった」などと答えました。

同委員会事務局は「やまゆり館に図書・学習機能を新設し、図書やカフェを中心とした多世代での交流が図れる場を整備する案で検討した。市長公約という政治的な話ではなく、諮問している段階だ。市長の公約とは別なところで進んでいる」と

※配置案及びイメージについては検討案を確定するものではありません。

地域懇談会に提出された資料



検討委員会で検討している新施設（イメージ）



【前ページから続く】

「千代田地区には3箇所」の地下水取水場があるが、地下水の水質浄化にかかる費用は年間幾らか」と質しました。

都市建設部長は「毎年概ね1700万円程度かかっている」と答えました。

佐藤議員は「計算結果、千代田地区の地下水取水原価は1ト当たり15〜20円程度である。一方、県西用水の供給単価は132円だ。年間で換算すると県西用水と千代田地区の地下水の差額は年間約1億円になる」と指摘。

千代田地区の地下水が清浄で且つ安いことを明らかにし、地下水の活用を求めました。

同部長は「単に規制をクリアできるという観点

だけではなくて、将来にわたる維持管理費や施設の更新コストが市民負担として跳ね返らないかという経営的な視点から、現実的な選択肢となり得るか、慎重に精査していく必要がある」などと答弁。地下水の利活用に否定的な態度をとりました。

## 布設老朽管対策は

佐藤議員は、漏水の検査件数と配水管の布設の時期の関係について、市の対応を質しました。

同部長は「漏水調査は、毎年度、漏水の多い地区について順次行っており、昨年度は上佐谷、山本地区を行つていいる。配水管布設時期との関係については、当然経過年数だけではなくて老朽化で漏水することもあるが、漏水の多いエリアを絞って実施している状況です。現在、来年度にかけて水道管の更新計画を作成して

いる」と答弁しました。

水道管の経過年数と布設長さについては表の通りです（令和6年度現在）。佐藤議員談・令和18（2036）年には、千代田地区の地下水汲み上げ約2,900トを県水に切替えるとしています

が、揚水機（ポンプ）の吐き出し口の断面積が50㎤以下であれば許可制の対象外となり、届出のみで設置が可能です。千代田地区には3箇所の取水井戸（下稻吉第2浄水場内取水井・大塚団地内取水井・江後田取水井）があるので、1箇所で汲み上げ可能な水量は792トです。3箇所合計で2,376トにもなります。不足分は霞ヶ浦浄水場から送水すれば十分賄えます。

水道事業広域化で、自己水源である千代田地区の美味しい地下水を放棄することになります。また、水道事業の経営健全化には漏水対策は欠かせません。市独自の対策が必要です。水道事業の広域化に参加すべきではありません。

| 経過年度       | 布設長さ    | 総延長との割合 |
|------------|---------|---------|
| 40年以上      | 39km    | 9.1%    |
| 30年以上40年以下 | 120km   | 28.1%   |
| 20年以上30年未満 | 191km   | 44.8%   |
| 20年以内      | 76.7km  | 18.0%   |
| 計          | 426.7km | 100.0%  |

# 軍拡でなく福祉充実を！

## 共産党茨城県委員会が省庁交渉

日本共産党茨城県委員会と県地 要請行動には、上野高志県委員長、方議員団は10月29日、衆議院第1と大内久美子副委員長、高橋誠一1議員会館で省庁交渉に取り組み、郎政政策委員長、江尻加那県議と佐県政課題や住民要望を政府に届け、藤文雄市議を含む地方議員らが参加し実現を求めました。

要望は、▽避難所への者への支援▽東海第2原エアコン設置▽河川整備 発の廃炉▽共生社会とジェと雨水排水対策▽上下水 ンダー平等の実現▽航空道施設の老朽化対策▽地 自衛隊百里基地へのミサ域公共交通への支援拡充 イル配備撤回▽温室効果%減税ーなど107項目です。



政府交渉で発言する佐藤議員（後ろ端1人目）＝10月29日、衆議院第1議員会館

東海第2原発（東海村）

の廃炉を求める要望では、原発の過酷事故を想定した避難計画で、県が屋内退避に85万2千人を自宅避難にとどめる考えについて、江尻氏は「被ばくや放射能汚染を防ぐことができないことを国はどう考えるのか。事故が起きた場合の国の責任を明らかに」と求めました。国の担当者は、「わずかな放射能や被ばくは大丈夫であり、事故が起きた際の責任は、法律に基づき、事業者と国がそれぞれに対応する」と答えました。

江尻氏は、「（国の）

放射能放出や被ばくはありうるという考えでの原発の活用など許されない。放射能は絶対に外に出さない。被ばくはさせないという原子力の原点に立ち返るべきだ」と批判しました。

各議員も次々と質問。

佐藤文雄市議は、文科省担当者に「体育館の断熱化整備助成の延長」などを求めました。

文科省担当者は、「令和15年まで延長する」と答えました。

議員団は、軍事費拡大で医療費削減するのではなく、農業や教育、福祉政策の充実などを要望しました。

## 給食無償化は全額国負担

### 来年度4月から公立小学校で

### 世論・地方の声が後押し

来年度4月からの公立小学校の給食費無償化は、対応し、実質的に自治体全額国の負担で実施することになりました。児童1人あたり月5200円を公費で支援します。昨年12月18日の自民、日本維新の会、公明の3党による実務者協議で決定しました。

文科省はこれまで、アレルギーなどで弁当を持参する子どもや、不登校で給食を食べない児童生徒もいることから、「公平性」を口実に「無償化」を勘案し単価を引き上げます。必要経費は国と都道府県の折半としました。

文科省によると、2023年の平均給食費は約4700円。物価高騰分を勘案し単価を引き上げます。必要経費は国と都道府県の折半としました。

参する子どもや、不登校で給食を食べない児童生徒もいることから、「公平性」を口実に「無償化」を勘案し単価を引き上げます。必要経費は国と都道府県の折半としました。

一方、保護者や学校関係者が無償化を求める運動を全国で展開。日本共産党の吉良よし子参院議員の18年12月の国会質問に、文科省が「学校給食法は自治体の全額補助を否定していない」と認め、これらに押され、自治体独自の無償化措置が広がりました。

自維公は当初、26年度予算が大詰め段階で地方に半額を負担させる案を唐突に提示しましたが、これに対し全国知事会は「本来であれば国の責任で全額国庫補助金等で実施するもの」とする抗議声明を出していました。

議員 佐藤 一般 質 問

## 市庁舎内管理規則の一部を改正する規則について

憲法で保障された政治活動の自由及び個人の思想・良心の自由を侵害する内容で、撤回を求める

宮嶋市長は10月22日、市庁舎内管理規則の一部を改正し、第5条の禁止行為11番目に「政党及び政治団体の機関紙を購読するよう勧誘し、もしくは配布し、または政党などの広報チラシその他こ

れに類する印刷物を配布し、もしくは掲示すること」を新たに加えることと発表しました。

佐藤議員は翌23日、「これは、憲法の21条で保障された政治活動の自由で明らかにしたうえで、

「そもそも職員アンケートによって、人事権を持つ市長が幹部職員に政党機関紙の購読の有無を尋ねること自体、まさに内心の自由への侵害ではないでしょうか」と疑問を投げかけました。

## 新春宣伝

## 「軍拡止め」立ち上がる年に!

## 佐藤議員 市内31カ所で街頭演説

佐藤議員は、1月3・4日の2日間、かすみで伝行動を行いました。



街頭で演説する佐藤議員=3日

「戦争を止め、差別・排外主義ではなく人権の保障を。軍拡ではなく生活のための政治を。国民的な共同を広げよう」と、かすみがうら市内31カ所で街頭から呼びかけました。市民からは声援がありました。

## 「政治は変えられる」その展望を開く年に

高市政権は、「攻撃的な兵器は持たない」「非核三原則」「武器輸出三原則」という戦後の平和国家の歩みを覆して、米軍と一体の戦争する国づくりの大軍拡に突き進んでいます。消費税減税や最低賃金大幅引き上げに背を向けているのが高市政権。国民との矛盾は広がらざるを得ません。

裏金への無反省によって、総選挙でも参院選でも与党過半数割れとなり、26年間連れ添った公明党も政権離脱、新たな連立相手の維新の会は公金還

「政治は変えられる」。その展望を開く年にしましょう。

衆議院議員 塩川 鉄也



「戦争を止め、差別・排外主義ではなく人権の保障を。軍拡ではなく生活のための政治を。国民的な共同を広げよう」と、かすみがうら市内31カ所で街頭から呼びかけました。市民からは声援がありました。

## 今こそ日本共産党の出番

昨年、「政治を変えたい」というみなさんの思いが、参院選でも自民党を追いつめる大きな力になりました。その思いは今も渦巻いています。

ところが、自民党政権を延命させる党があつちにもこつちにも。「頭にくることばかり。どうして変わらないのか」という怒りが寄せられるのは当然です。今こそ日本共産党の出番です。命とくらしが大切にされる社会、平和な世界の実現へ、これまで以上にみなさんと力を合わせていきたい

と思います。

首相官邸前での台湾有事発言撤回を求める抗議行動の広がり、核兵器禁止条約の署名・批准を求める344万筆を超える署名の提出、ニューヨーク市でDSA(アメリカ民主社会主義者)のママダニ氏が市長になるなど、社会も世界も大きく動いていることを感じます。今年も新たな出会いを楽しみに奮闘する決意です。

参議院議員 いわぶち友



## 2026年かすみがうら市景アンケート実施中

日本共産党は、暮らし・福祉・教育など、市民の皆さんの願いを、市・県・国に届け実現するため、アンケートをインターネットによるwebサイトでも実施しています。ご協力をお願い致します。



## 市民の声が生きる希望の年に!

高市内閣の発足から2ヶ月あまり、この間の発言をみると「危険」という言葉が真つ先に浮かぶ。台湾有事のこれまでの首相が曖昧にしてきたことを飛び越して中国を敵国のように扱った。なかなか解決の糸口は見つからず長引きそうで、日本経済へのマイナス影響は避けられない。

生活面でも物価高が続く中、国民への支援策で思い浮かぶのはおこめ券ぐらいで、ほとんど生活は苦しいままである。とにかく遅すぎる!

反面、防衛費は湯水のごとく増やし9兆円を超えました。アメリカいなり以上の対応です。国内にはミサイル基地の建設で百里基地にも配置が決まり命の危険も増します。南西諸島には自衛隊員が家族ごと移り住む状態、島民には非常事態訓練を計画し、「なぜ島から出なければいけないのか」と怒りを呼んでいる。

## 読者の広場

ます。

かすみがうら市を見ると、神立病院設置の計画が頓挫したことが一番に浮かびます。大型病施設の設置を期待していた方も多かったと思います。その後の敷地利用についてはまだ明確になつていません。

最近では、県の水道事業への参加を決めたことです。生活のインフラでも一番大切な水をすべて県に任せる事になり、災害時の供給不安や水道料金の変化はどうなるかなど、不安要素が増えると思います。

地域的な問題としては旧新治小学校の跡地の貸付け問題があります。

土地と校舎を20年間70万円で貸付けるものです。あまりにも安すぎると思っています。住民への説明会が行なわれましたが、参加者から再度の説明会の開催を要望する文書が出されています。住民が納得してからの貸付

け実施をお願いしたい。振り返るとあまり良いことが無かったように見えますが、給食費の一部無償化や補聴器購入の補助などみなさんの声を実現できたこともあります。これからも市民の声をたくさん聞きながら要望の実現に取り組んでいきたいと思っています。

【後援会事務局 K・T】



## 議会報告会のお知らせ

2026年2月8日(日)午後2時～  
会場:下稲吉コミュニティセンター  
(旧働く女性の家)